

中小業者の要求実現のため、商工新聞読者と会員を増やそう!!

2017年9月4日(月)発行

No.246

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会

名古屋市北区大野町三丁目19番地
TEL (052) 915-8111 FAX (052) 915-8114
E-MAIL jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

新会員9名が参加し歓迎会



= 参加者全員で乾杯!! =

8月25日(金)夜、民商事務所『新会員歓迎会』を開催し、新会員7組9名をはじめ、役員・事務局計18名が参加しました。
井浪副会長が歓迎のあいさつをし、『ようこそ民商へ』のDVDを視聴した後、大谷副会長の音頭で乾杯。お寿司とオードブルを食べながら、自己紹介。
山田支部の加納支部長は「民商のニュースで有名になった加納です」と笑いを誘っていました。
税務調査で入会した守山東支部の中水流さんは「姉に民商を紹介された。最後まで頑張ることができたのも、民商のおかげ。今は、民商に足を向けて寝ていない」と、実感を込めて話しました。
西支部の米田さんの紹介

で入会した3人は「民商で一人親方保険に入り、安心して現場で仕事ができる」と口をそろえました。
この他、下請代金の未払いや入会後に税務調査になった新会員など、業種も要求も様々で、交流の輪が大いに盛り上がりました。
建設関連の参加者が多かったこともあり、9月に開

催予定の『労働保険・一人親方保険の加入説明会』のチラシ配り、「みなさんも知り合いを連れて、参加して下さい」と呼びかけました。
最後に、伊神会計が「民商はみなさんの会費で運営しています。配達・集金にも、様々な行事にも参加して下さい」と締めくくりました。

市内7民商が

名古屋市内と交渉

名古屋市内の民商は、8月25日(金)午後2時から名古屋市中

例について発言。

日(金)午後2時から名古屋市中交渉を行いました。役員、会員など36名のほか、共産党市議団より8名が参加しました。
服部守延愛商連会長が「大企業が史上最高の利益をあげる一方で、中小業者の営業と暮らしては大変な状況。地域経済や雇用などに果たす中小業者の役割はますます大きくなっています」と挨拶。

昨年秋、分納計画が立たないことを理由に短期保険証の更新を断られた女性が、その後救急搬送され、治療の甲斐無く今年4月に亡くなりました。「病院に行きたいので保険証を出してほしい、との訴えがあればすみやかに交付すべきではないか」と問いただしましたが、健康福祉局の担当者は「風邪などの軽い病気では出せない」などと話したため「それはおかしいのではないか」「生存権の観点からも資格証明書の発行はやめ、すみやかに正規の保険証を出すべきだ」と声が上がりました。

その後、中小業者施策と地域要求、社会保障、融資制度、地方税のそれぞれの分野の重点項目を中心に話し合いました。
名古屋北部民商から、昨年西区で起こった「滞納を理由に短期保険証の更新を断られた」事

また来年4月実施予定の国保県単位化によって急激な保険料



=自己紹介する山田支部の横山さん=



=閉会あいさつをする柳澤会長=

の上昇がないよう求めました。
その他、市内事業者の訪問、アンケート調査、公的融資の改善、住民税特別徴収通知書へのマイナンバー記載を来年度もしないように要望し、柳澤・北部民商会長が「名古屋市の皆さんには、私たち市民・中小業者の方をしっかり向いて仕事をしてほしい。そうすることで名古屋も良くなっていくと思います」と閉会の挨拶を行いました。

会費は15日までに集金して、班・支部の役員に届けて下さい。
15日80%、月末100%集金にご協力を!!